〔活動交付金〕

様式第２３号（第５条関係）

令和 8 年 3 月 31 日

笠岡市長　殿

所　在　地　笠岡市真鍋島４０９３
協議会名　真鍋島まちづくり連絡協議会
協議会長名　会長　川辺昭政

令和　7　年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）
変更申請書（兼）実績報告書

令和 7 年 5 月 20 日付け笠岡市指令まち第 85 号で交付決定を受けた交付金について，次のとおり交付額の変更を申請します。併せて，次のとおり活動が完了したので，笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第５条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

１　変更交付申請額　　483,216　円
（交付金決算額）

〔内訳〕　（単位：円）

交付決定額　①	変更交付申請額（交付金決算額）		返還額　④
	当該年度支出額　②	次年度繰越額　③	
536,000	483,216	0	52,784

２　交付金が減額変更になった理由

物価高騰の中、価格の変動も激しく様子をみながら経費削減に努めた結果。

【添付書類】
（１）笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第２４号）
（２）笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書
（様式第２５号又は様式第２５号の１）
（３）支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
（４）事業の実施状況がわかる写真及び成果品
（５）その他参考となる書類

〔活動交付金〕

様式第２４号（第５条関係）

令和　7　年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名　真鍋島まちづくり連絡協議会

活動Ｎｏ	1
活 動 名	山道整備・保全事業
前年からの繰越金	○あり　◉なし

1　目的，活動実施により期待される効果

【目的】	山道の散策と観光地を推進。
【効果】	瀬戸内の景観が楽しめる。来島者との交流、コミュニケーション作りができる。

2　実施期間

令和　7　年　4　月　1　日　～　令和　8　年　3　月　31　日

（計画期間　　年中　　年目）

3　実施場所

島内全域

4　活動に関わった人数・団体

○総人数：　7　人（ア＋イ）

（内訳）企画運営に関わった人数：　2　人（ア）

その他関係人数（当日参加者等）：　5　人（イ）

○団　体：　（団体名）　　，　（団体名）

（団体名）　　，　（団体名）

5　実施内容

島内全域の山道の草刈り、掃除と不用木の伐採、倒木の片付けと草枯らしの散布。平地から頂上への道に冬場枯れ葉がたまって滑りやすく、歩くのに危険であり清掃も実施する。活動成果の島内外への周知を強化する。（掲示板、マップ作り、インターネット等により）

6　決算額

429,924 円（うち交付金分　429,924 円）

7　活動実施による成果及び課題

【成果】	ひととおりの計画していた草刈り等は達成した。人員確保もできた。
【課題】	目的への道路の痛み具合が悪い。（一部修復中）参加人員の確保。

〔活動交付金〕

様式第２５号（第５条関係）

令和　7　年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名　真鍋島まちづくり連絡協議会

活動Ｎｏ	1
活 動 名	山道整備・保全事業

【収入の部】　（単位：円）

費　　目	予算額	決算額	差引	摘　　要
市交付金	① 454,000	454,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	454,000	454,000	0	

【支出の部】　（単位：円）

費　　目	予算額	決算額	差引	摘　　要
報償費	330,000	283,000	47,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	121,000	139,768	△ 18,768	〃
役務費	3,000	7,156	△ 4,156	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	454,000	429,924	24,076	決算額のうち市交付金分 ② 429,924

市交付金の余剰金　①－②　24,076　円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③　　円　　返還額 ④　24,076　円

※　収入及び支出の区分欄は，適宜変更して使用すること。

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　山道整備・保全事業

費目　　報償費

No.　　1

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
1	7	5	12	スタッフ4名		15,000	15,000
2	7	6	2	〃		20,000	35,000
3	7	6	2	スタッフ3名		20,000	55,000
4	7	6	18	スタッフ4名		20,000	75,000
5	7	6	18	〃		21,000	96,000
6	7	6	25	〃		20,000	116,000
7	7	6	25	スタッフ3名		20,000	136,000
8	7	11	10	〃		19,000	155,000
9	8	1	28	〃		23,000	178,000
10	8	1	28	スタッフ1名		10,000	188,000
11	8	2	16	スタッフ2名		15,000	203,000
12	8	3	4	スタッフ		4,000	207,000
13	8	3	4	スタッフ4名		24,000	231,000
14	8	3	23	〃		28,000	259,000
15	8	3	31	スタッフ3名		24,000	283,000
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
					No.1　小　計	283,000	

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　山道整備・保全事業

費目　　需用費　　消耗品費

No.　　1

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
1	8	3	25	ホリデイ	ほうき、除草等	109,238	109,238
2	8	3	27	櫛田農機	乗用草刈り機替え刃	21,890	131,128
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
					No.1　小　計	131,128	

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　山道整備・保全事業

費目　　需用費　　食糧費

No.　　1

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
1	7	9	10	スタッフ	飲料代	8,640	8,640
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
					No.1　小　計	8,640	

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　山道整備・保全事業

費目　　役務費

No.　　1

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
1	7	4	30	JA	保険料（傷害・賠償）	1,138	1,138
2	7	6	4	〃	〃	1,138	2,276
3	7	10	29	〃	〃	1,220	3,496
4	7	12	22	〃	〃	1,220	4,716
5	8	1	27	〃	〃	1,220	5,936
6	8	3	10	〃	〃	1,220	7,156
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
					No.1　小　計	7,156	

自己評価シート

（令和　7　年度）　　No. 1

協議会名	真鍋島まちづくり連絡協議会
活動名	山道整備・保全事業

活動目的	山道の散策と観光地を推進。
実施内容	島内全域の山道の草刈り、掃除と不用木の伐採、倒木の片付けと草枯らしの散布。平地から頂上への道に冬場枯れ葉がたまって滑りやすく、歩くのに危険であり清掃も実施する。活動成果の島内外への周知を強化する。（掲示板、マップ作り、インターネット等により）

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみんなで共有することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 （活動の経費・理由・内容など）	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 （広報手段・日程調整など）	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 （男女共同参画の推進，地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど）	4
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	4
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について
4:よくできた　3:まあまあできた　2:あまりできなかった　1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
ひととおりの計画していた草刈り等は達成した。人員確保もできた。	目的への道路の痛み具合が悪い。（一部修復中）参加人員の確保。

今後の活動の方向性・改善策

人員確保の為、ボランティア募集をする。（備中県民局への要請）　平地の草刈りにも注力する。近年倒木等が増えつつあり回数を増やす。

〔活動交付金〕

様式第２４号（第５条関係）

令和　7　年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名　真鍋島まちづくり連絡協議会

活動Ｎｏ	2
活 動 名	真鍋島定住促進プロジェクト
前年からの繰越金	○あり　◉なし

1　目的，活動実施により期待される効果

【目的】	担い手の確保は依然として地域維持にあたっての重要課題であるが、中学校休校の流れにおいては今後子育て世帯のみならずターゲット層を広げてPRしていく転機にある。移住者獲得を最終目標としながらも、まずは小目標として真鍋島そのものの知名度を上げ、関係人口を増加させる活動で成果につなげていく。
【効果】	移住を促進することによって地域課題の解決につなげるとともに、関係人口の増加によってSNS等を活用した情報の発信源を広く確保できる。

2　実施期間

令和　7　年　6　月　1　日　～　令和　8　年　3　月　31　日

（計画期間　　年中　　年目）

3　実施場所

真鍋島　笠岡諸島

4　活動に関わった人数・団体

○総人数：　15　人（ア＋イ）

（内訳）企画運営に関わった人数：　10　人（ア）

その他関係人数（当日参加者等）：　5　人（イ）

○団　体：　（団体名）　　，　（団体名）

（団体名）　　，　（団体名）

5　実施内容

真鍋島の知名度を高めるためSNS等で有力な発信源となり得る人材と交流し、広域への情報発信を促しながら定住促進プロジェクトや真鍋島そのものの知名度アップを図る。

6　決算額

53,292 円（うち交付金分　53,292 円）

7　活動実施による成果及び課題

【成果】	移住相談で実際来島されて話をした。
【課題】	関係人口を増やしていくことが何より大切だと思われる。

様式第２５号（第５条関係）

〔活動交付金〕

様式第２５号（第５条関係）

令和　7　年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名　真鍋島まちづくり連絡協議会

活動Ｎｏ	2
活 動 名	真鍋島定住促進プロジェクト

【収入の部】　（単位：円）

費　　目	予算額	決算額	差引	摘　　要
市交付金	①　82,000	82,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	82,000	82,000	0	

【支出の部】　（単位：円）

費　　目	予算額	決算額	差引	摘　　要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費	30,000	0	30,000	〃
需用費	8,000	29,240	△ 21,240	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料	11,000	14,152	△ 3,152	〃
備品購入費		0	0	〃
宿泊費	33,000	0	33,000	〃
委託料		9,900	△ 9,900	〃
			0	
			0	
計	82,000	53,292	28,708	決算額のうち市交付金分 ②　53,292

市交付金の余剰金　①－②　28,708　円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③　　円　　返還額 ④　28,708　円

※　収入及び支出の区分欄は，適宜変更して使用すること。

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　真鍋島定住促進プロジェクト

費目　　需用費　　消耗品費

No.　　1

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
1	8	2	18	スタッフ	中古パソコン購入	26,820	26,820
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
					No.1　小　計	26,820	

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　真鍋島定住促進プロジェクト

費目	需用費	食糧費

No.　1

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
1		2	4	モトエカフェ	飲料代	2,420	2,420
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
					No.1　小　計	2,420	

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　真鍋島定住促進プロジェクト

費目　　**使用料及び賃借料**

No.　　1

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
1	8	3	18	スタッフ	ドメイン及びレンタルサーバー料	14,152	14,152
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
					No.1　小　計	14,152	

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　真鍋島定住促進プロジェクト

費目　　委託料

No.　　1

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
1	8	3	18	スタッフ	パソコン入替作業、サイト修正作業一式	9,900	9,900
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
					No.1　小　計	9,900	

〔活動交付金〕

自己評価シート

（令和　7　年度）　　No. 2

協議会名	真鍋島まちづくり連絡協議会
活動名	真鍋島定住促進プロジェクト

活動目的	担い手の確保は依然として地域維持にあたっての重要課題であるが、中学校休校の流れにおいては今後子育て世帯のみならずターゲット層を広げてPRしていく転機にある。移住者獲得を最終目標としながらも、まずは小目標として真鍋島そのものの知名度を上げ、関係人口を増加させる活動で成果につなげていく。
実施内容	真鍋島の知名度を高めるためSNS等で有力な発信源となり得る人材と交流し、広域への情報発信を促しながら定住促進プロジェクトや真鍋島そのものの知名度アップを図る。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動の目的・効果を地域のみんなで共有することができたか。	1
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	2
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 （活動の経費・理由・内容など）	2
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 （広報手段・日程調整など）	1
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 （男女共同参画の推進，地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど）	1
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	1
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	2
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	2
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	2
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について
4:よくできた　3:まあまあできた　2:あまりできなかった　1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
移住相談で実際来島されて話をした。	関係人口を増やしていくことが何より大切だと思われる。

今後の活動の方向性・改善策

なにより真鍋島を知ってもらうことからが大切。SNSを利用して少しでも島を知ってもらう。